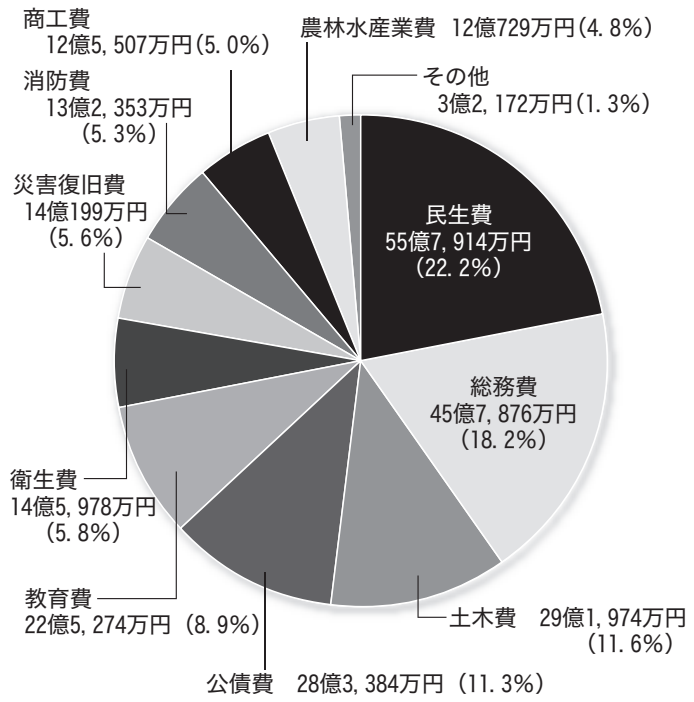


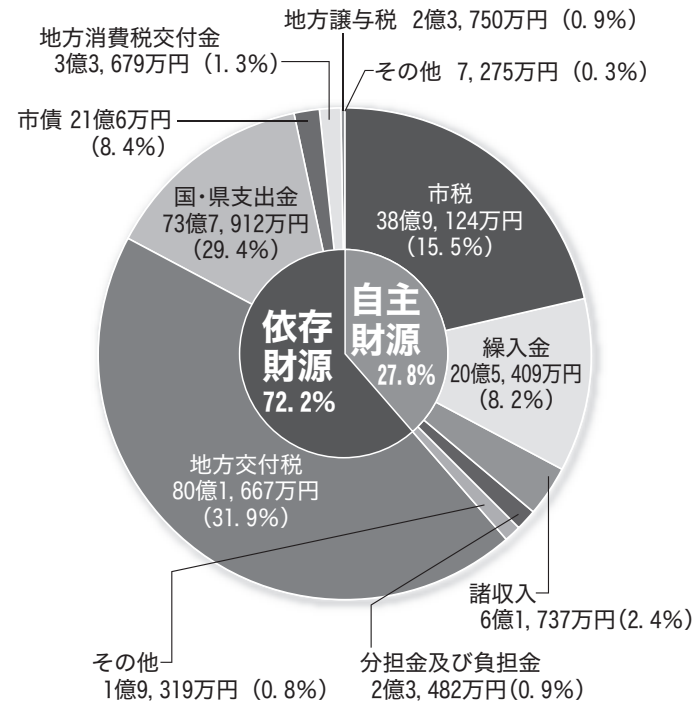
# 歳入・歳出 251億1億円 復興最優先に

一般会計 歳出 251億3,360万円



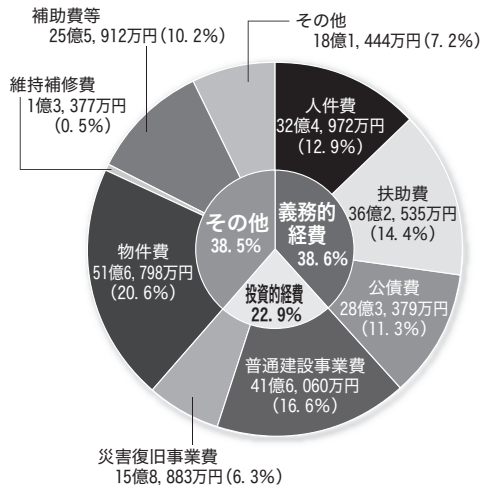
- 割合が大きいもの
- ▶ 1位 民生費…福祉や子育てなどにお金
  - ▶ 2位 総務費…市の財産管理などにお金
  - ▶ 3位 土木費…道路や公園などを整備・補修するためのお金

一般会計 歳入 251億3,360万円



- 割合が大きいもの
- ▶ 1位 地方交付税…国から配分されたお金
  - ▶ 2位 国庫支出金…国からの補助金など
  - ▶ 3位 市税…皆さんから納めてもらった税金

## 歳出・性質別内訳



- 割合が大きいもの
- ▶ 1位 物件費…委託料や使用料、物品購入費など
  - ▶ 2位 普通建設事業費…道路や漁港などの新増設工事に係る費用
  - ▶ 3位 扶助費…児童手当や生活保護費など

## 特別会計

特別会計は、特定の事業を一般会計と区分したり、特定の歳入と歳出を区別して処理する会計です。

■ 土地取得事業	2,082万円
■ 国民健康保険事業勘定	49億5,806万円
■ 国民健康保険直営診療施設勘定	2億9,791万円
■ 後期高齢者医療	2億6,373万円
■ 介護サービス事業	9,041万円
■ 魚市場事業	3,708万円
■ 漁業集落排水事業	3億1,228万円
■ 公共下水道事業	15億8,234万円
合計	75億6,263万円

## 企業会計 水道事業会計

公営企業会計は、事業で得られる収入で経費を賄う独立採算制を原則とした会計です。久慈市では、水道事業会計がこれにあたります。

区分	収入	支出
収益的収支	8億3,539万円	9億5,348万円
資本的収支	7億2,399万円	9億2,428万円

をはじめ、教育環境の充実や雇用対策などを進めるために、主要事業には重点的に予算を配分しました。

歳出で最も多いのは、福祉や子育て支援などに使う民生費で55億7,914万円。復旧・復興関係では、津波避難施設や災害公営住宅、もぐらんぴあの復旧工事費など、久慈市復興計画に基づいて61事業、63億5,580万円を盛り込みました。

また、本年度も国の緊急雇用創出事業を活用し、観光や

特産品開発、介護関係などの事業を導入。さらに、当初予算提案後にも緊急雇用創出事業の追加実施などが認められたため、3億9,340万円の補正予算を編成しました。この補正予算は3月18日の市議会で議決。補正後の予算額は255億2,700万円となっています。

一般会計と区別して処理する特別会計(左)の予算総額は75億6,263万円。前年度に比べて5億5,093万円の増となっています。

依然厳しい財政状況 繰入金は約6倍に増

東日本大震災の影響で、平成25年度も厳しい財政状況での予算編成になりました。

歳入を財源別に見ると、市税などの自主財源が69億9,071万円、全体の27.8%。これに対して、国から配分される地方交付税などの依存財源は181億4,289万円、全体の72.2%となっています。前年度に比べて自主財源の割合は増えましたが、依然、

復興61事業に63億円 主要事業も重点配分

財政の大半を国や県に頼っている状況です。

市は財源確保のため、財政調整基金から3億1,540万円を繰り入れ、復興事業の財源となる東日本大震災復興交付金基金からは15億5,457万円の繰入金を計上したため、繰入金の総額は前年度比約6倍と大幅に増えています。

厳しい財政状況ではありますが、震災からの復旧・復興

平成25年度の一般会計当初予算は251億3,360万円(前年度比31億6,060万円増)。東日本大震災からの復旧・復興を最優先とし、過去最大の予算を編成しました。

久慈市復興計画に基づく事業を最優先としながら、社会基盤の整備、教育環境の改善や雇用対策、観光振興などにも重点的に予算を配分。これまで以上に選択と集中を進め、限られた財源の効果的活用を努めました。このページでは、そのあらましをお知らせします。

※金額は1万円未満を四捨五入しています

